

平成26年8月29日

美里町議会

議長 吉田 眞悦 殿

教育、民生常任委員会

委員長 福田 淑子

教育、民生常任委員会委員派遣報告書

本常任委員会は、所管事務調査を終了したので、委員会規則第22条の規定により下記のとおり報告する。

記

- | | |
|----------|----------------------------------------------|
| 1. 調査年月日 | 平成26年7月16日(水)～7月17日(木) |
| 2. 調査視察地 | 和歌山県和歌山市、三重県松阪市 |
| 3. 参加委員 | 福田淑子、山岸三男、千葉一男、藤田洋一、
柳田政喜、大橋昭太郎、吉田二郎、平吹俊雄 |
| 4. 随員職員 | 吉田 泉、相澤正典 |
| 5. 調査事項 | 和歌山市 健康づくりへの取り組みについて
松 阪 市 認知症予防対策について |

所管事務調査研修報告

「目的」

健康を維持したいという意識は強まり、それに取り組んでいる町民も多くなっている。しかしながら、国民健康保険特別会計および介護保険特別会計における保険給付費の支出は依然として増えているのが現状である。支出が増えれば保険料にはねかえり町民への負担が増え、健全な会計の維持に大きく影響することが危惧される。当委員会は「国民健康保険特別会計および介護保険特別会計の保険給付費を減額するための対策」として、予防を重点にした対策を講ずることが必要であることから、和歌山市の「健康づくりへの取り組み等」、松阪市の「認知症予防対策」について実施状況を学ぶことにした。

「概要」

1. 和歌山市

1) 概況

明治 22 年 4 月 1 日に市制が施行された。

面積は 210.31 km²で人口は 364,610 人。第三次産業に従事している人は約 70% となっている。

2) 視察・研修の概要

平成 24 年度から市民自らの主体的な健康づくりを促進するきっかけを提供することを目的に「わかやま市健康応援ポイントラリー」を実施している。

< 内容 >

- ・ がん検診や特定健診等を 1 つ以上受診、日々取り組む健康づくりの目標を立てて実践、「健康づくり事業（*1）」に参加して健康応援ポイントシールを 3 枚集める、の 3 項目を全て満たした市民に景品を送付する。

*1 健康づくり事業（ポイント対象事業）

- ・ 当課開催の事業（健康応援フェア、健康セミナー、栄養教室など）
- ・ 市内のコミュニティセンター、体育館で開催している健康教室
- ・ 県スポーツ振興財団開催の運動教室等
- ・ 健康ウォーキングイベント（*2）

*2 健康ウォーキングイベントについて

和歌山市健康ウォーク（*3）に掲載されているコースを初心者向け

から健脚者まで 33 コースを設定し、冊子として市関係部署で配布する。

平成 21 年度から、がんや糖尿病等の生活習慣予防に対する市民の積極的な取り組みを促進するため、正しい知識の普及や健康づくりを意識づける場を提供し、市民の生活習慣改善や健康状態を向上させることを目的とした健康応援フェアを実施している。

< 内容 >

- ・健康チェック（骨密度、血管年齢、肺年齢等の各種測定）
- ・歯科検診、フッ素塗布、乳幼児身体測定
- ・保健所紹介コーナー（手洗いチェック、アルコール体質判定、動物愛護等）

* 全額無料とし自己負担はなく、来場者は毎年約 1000 人となっている。

平成 24 年度から、糖尿病予防対策に係る総合的な対策を具体化するためとして、大学病院、医師会、薬剤師会、栄養士会、食生活改善推進協議会、市などの団体で連絡調整会議を開き、まちぐるみの糖尿病予防事業と位置づけ取り組んでいる。

がん対策事業

40 歳になる月の月末に対象者に健康手帳を発送し、送付時にがん検診勧奨チラシを同封している。また、市内 7 社の企業・団体と市が和歌山市がん対策推進に関する企業等連携協定の締結を行い、効果的な啓発および受診勧奨をおこなっている。

介護保険事業の取り組み

（和歌山市の現況）

高齢化率 27.37% 要支援認定者数 24,128 人（23.3%）

- ・一次予防事業

（概要）

地域で介護予防活動に取り組む意欲のある一般高齢者を募り、シニアエクササイズを受講後、地域でボランティア活動を展開する人材育成を目的とする。具体的な活動は、地域の高齢者が運動に参加しやすいように、自主グループで運動に取り組むことで、楽しみながら運動の習慣化や参加者同士の交流を図り、地域の活性化につながっている。また市として、自主グループの立ち上げ等、物品（ステップ台、血圧計）等の支援、地域包括支援センター、大学の講師派遣を通じての人的支援、活動場所の確保等の支援を行っている。

- ・二次予防事業

（概要）

対象者に対し通所介護予防事業（運動・口腔・訪問型）地域包括支援センターによる予防介護についての普及啓発を行う。

その取り組み内容は、医療機関へのポスタ - 掲示（500 枚）とかかりつけ医からの声掛け、老人会や婦人会等の団体に基本チェックリスト実施、自主グループの紹介などである。



和歌山市の取り組みについて説明を受ける（7月16日）

2. 松阪市

1) 概況

平成 17 年に合併した。

面積は 623.77 km²で人口は約 17 万人。高齢化率は 26.4%となっている。

2) 視察・研修の概要

地域支援体制について

地域包括支援センターを拠点とした取り組みで、センターは公民館別により地域を分担し、市内 5 か所に設置している。

介護予防の取り組み

・二次予防対象者事業

基本チェックリストの結果により、事業対象者と判定された人には、集団による通所型介護予防教室などを開催。認知症予防を目的としたプログラムも実施している。

・一次予防対象者事業

* 介護予防教室

イ. 65 歳からの健康づくり

運動器の機能向上の効用を理解することによって QOL を高める。

ロ. 認知症予防講座

物忘れが心配な人を対象とし、不安を抱える高齢者および認知症スクリーニングで予防の必要な人に対し、優しく相手を癒し、脳の健康維持・向上を高め認知症を予防する。

ハ. 介護予防講演会の開催

市内 5 か所で、毎年介護予防の中から、テーマを 1 つ決めて開催している。

「認知症を理解し、みんなで支えるまち」の取り組み状況 (H20~)

イ. 認知症サポーター養成講座

より多くの人に認知症を理解してもらうため、昼間だけでなく休日、夜間など地域の状況に応じて自治会、職場などで開催している。

また、子どもたちに 30 年後の市がどうなるのか考えてもらい、理解してもらうために、学校でも開催している。

ロ. 認知症市民フォーラムの開催

住み慣れた地域でその人らしい尊厳ある暮らしを実現するには、認知症の理解度の底上げが欠かせないとして、市民全体に向けた認知症に対する理解や関心を促進する内容を盛り込んだ「認知症市民フォーラム」を平成 21 年度より 2 年に 1 回、定期的な開催を続けている。

ハ. 認知症講演会の開催

一番身近な「かかりつけ医」が認知症の正しい理解や早期発見、治療、また認知症予防について伝えることで専門的な身近な相談窓口としての周知を図ることができるとし、開催した。講師は認知サポート医または認知症対応力向上研修修了医に依頼している。

認知症予防の取り組みについて

(1) 早期発見

脳の健康チェック（対話式タッチパネルを用いたスクリーニング）

タッチパネル（1台約50万円）を4台購入し、定期的に脳の健康チェックが実施できるよう取り組み、15点満点中12点の物忘れが心配ありとなった人には個々に応じた支援を行っている。



対話式タッチパネル認知症スクリーニング機器

物忘れ相談会

医師会の専門医に協力をいただき、相談会を実施している。

担当医師の助言などに応じて、専門医の受診や教室参加につなげている。相談会来所者には3か月後に状況確認の連絡をいれ、フォローを行っている。

(2) 認知症予防

一次予防事業

情報は、申請制度を設け（命に係ることについては申請）行政・警察・包括支援センターが共有している。

・宅老所や老人会などでの「認知症予防講座 忘れん脳講座」の実施

二次予防事業

二次予防事業通所型介護予防教室を各包括に事業委託している。

定期的に週1回、決まった時間と場所を設定し実施している。

(プログラム内容)

・作業療法士によるプログラム：認知症についての講話・体操・料理・回想法など

・くもん学習療法によるプログラム：ふれあいタイム、教材学習

(3) 認知症予防にともに取り組みボランティアの育成と活動支援

介護予防を推進する人材を養成することを目的として平成19年度より開催している。

(4) 認知症の啓発と地域見守りネットワーク

認知症資源マップづくり

認知症を正しく理解し、認知症になっても安心して地域で暮らしていけるよう、見守り、支える資源としてマップを作成した。

平成21年から23年の3年間で地域ごとに住民と話し合いをしながら、住んでいる人だからこそわかる「活用できる資源」も盛り込みながらエリアマップを作成し、全戸配布を行った。

認知症サポーター養成講座

より多くの人に認知症の正しい理解を進めるため、自治会など地域でのサポーター養成講座開催をはじめ、小中学校でのキッズサポーター養成講座を継続して行っている。

高齢者安心見守り隊養成・活動支援

養成講座を受講修了した人を対象に地域の状況に応じて実施、修了後は見守り隊登録を行っている。また、年1回は全体研修会を行い、活動のリレートークを行い、情報共有とモチベーション維持・向上を図っている。



松阪市の取り組みについて説明を受ける（7月17日）

「町への意見・要望のまとめ」

1. 正しい知識の普及や健康づくりを意識づける場を提供し、生活習慣改善や健康状態を向上させることを目的とした、さらなる施策の展開を進める必要がある。

健康づくり事業への参加によるポイント制の導入

交通機関および体育施設の利用料無料化に（65歳以上）

健康応援フェアの開催

2. 介護予防活動に取り組みとしてボランティアの養成による自主グループの立ち上げを行い高齢者が参加しやすい環境づくりを行う必要がある。

3. 認知症予防の取り組みについて

認知症を理解し、みんなで支える町づくりのために、サポーター養成講座（子どもを含む）や、町全体でのフォーラム開催を。

早期発見のため、対話式タッチパネルを用いたスクリーニングの実施

徘徊者の早期発見・保護のための事前登録の推進とマップ作成